

受検番号

氏名

※

----- 切り取らないこと -----

令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

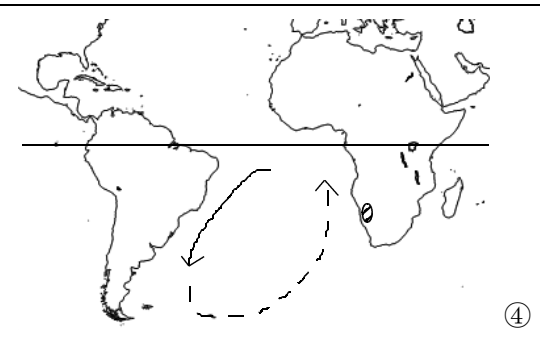
※

高等学校 地理歴史（地理） 解答例

1 20	(1) テラロッサ	(2) 屯田兵村	(3) サンベルト	(4) 文帝（楊堅）
	(5) ゴシック様式	(6) プラッシーの戦い	(7) 乙巳の変	(8) 甲州法度之次第
	(9) 美濃部達吉	(10) 核拡散防止条約	②×10	

2 14	(1)	<p>養殖業が卵から成魚まで人間の手で育てるのに対して、栽培漁業は、人間が卵からある程度の大きさまで育てたのち、自然界に放流して、育ったものを漁獲するという方法のこと。</p>
		⑥ 85字

(2)	<p>セメント工業は、原料産地が秩父や宇部など特定の場所に限定されており、製品よりも原料の重量が大きいので、輸送費が最小となる原料産地に立地することが多い。</p>
	⑧ 80字

3 31	(1)	<table border="1"> <tr> <td>ア</td> <td>沈水</td> <td>イ</td> <td>U</td> <td>ウ</td> <td>フィヨルド</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>貿易風</td> <td>オ</td> <td>極偏東風</td> <td>カ</td> <td>偏西風</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>地勢図</td> <td colspan="4">①×7</td> </tr> </table>	ア	沈水	イ	U	ウ	フィヨルド	エ	貿易風	オ	極偏東風	カ	偏西風	キ	地勢図	①×7			
	ア	沈水	イ	U	ウ	フィヨルド														
	エ	貿易風	オ	極偏東風	カ	偏西風														
キ	地勢図	①×7																		
(2)	<p>河川の河口部が沈水して生じたラップ状の入り江であるエスチュアリとなっており、良港となることが多い。</p> <p style="text-align: right;">④</p>																			
(3)	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>理由：寒流のベンゲラ海流が沿岸を流れており、上昇気流が発生しにくいので、降水が少なくなり、砂漠が形成される。</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">④</p>																			
(4)	<p>国名：ニジェール 理由：ニジェールでは人口が増加し、生活に必要な燃料となる薪炭材の需要が増加しているため。</p> <p style="text-align: right;">④</p>																			

(裏面に続く)

(5)	熱帯林において、有用材はラワンやチークなど一部の <u>樹種</u> だけであり、有用材だけを選別して切り出すのは、費用がかかるため。 ④
(6)	図1、図2で示された地域は、自然堤防や後背湿地、三日月湖を含む氾濫原であり、主に水田に利用されている。図1には三日月湖が見られたが、図2では埋め立てられ、水田になっている。 ④

4 1 2	(1)	ア	オーストラリア	イ	北アメリカ	ウ	アフリカ (完答②)
	(2)	ア	ガーナ	イ	リビア	ウ	南アフリカ共和国 (完答②)
	(3)	ア	エジプト	イ	ナイジェリア	ウ	ザンビア (完答②)
	(4)	土壌の肥沃度は低く肥料の使用量も少ないか無肥料のため、 <u>土地生産性</u> は低い。農作業に機械や家畜はほとんど利用されていないため、農民一人あたりの農地は狭く、 <u>労働生産性</u> も低い。そのため、耕地面積を拡大することで、主食となる穀物の生産量を増やした。 ⑥					

125字

5 1 0	(1)	6月から10月に南西方向から吹き込む季節風が、インド洋で大量の水分を含み、山脈やデカン高原を越える際に大量の雨を降らせるため。 ⑥ 65字
	(2)	茶の栽培に適した、雨が多く、水はけの良い丘陵地である。 ④

6 1 3	<p>「インドの工業は、どのようにして成長したのだろうか」の問いを設定し、生徒に提示する。資料1を活用して、インドは独立後、外国からの輸入を制限して、鉄鉱石・石炭などの豊かな鉱産資源を用いて自給自足の工業発展をめざしたが、外国資本を排除したため、技術革新が大幅に遅れ、国際競争力が失われたことに気付くようにする。1991年には新経済政策を導入して、経済の自由化を本格的に進めたこともあり、国内企業に加えて、資料2のように日本などの外国資本の企業が多数進出するようになったことを気付かせるようにする。また、資料3を活用して2008年と2018年の輸出品目を比較させ、5位に自動車が入っていることに気付かせる。その上で、資料4を活用して、インドに着目させ、自動車生産の伸びが著しいことに気付かせる。</p> <p>この学習指導を展開する上で、時代の趨勢や大きな出来事などを踏まえながら、地域的、国家的、あるいは国際的な地域の結び付き、地理的な事象の結び付きやその変容などに留意して、経済などの指標を踏まえて多面的・多角的に考察するようにする。</p> <p style="text-align: right;">⑬</p>
----------	---